

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程
小学校教育コース 教科教育専攻
美術教育専修

注意事項

1. 受験番号を、解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答時間は、120分である。
4. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけない。

問 題

ある小学校の近くには、角の丸まった石がごろごろ転がっている海岸があります。この石を使ったユニークな図画工作の授業を複数考え、絵や図を用いながら分かりやすく説明しなさい。



注 意 事 項

1. 石は無尽蔵にあるものとする。
2. 授業の場所は限定しない。
3. 児童の学年は問わない。
4. 解答用紙は罫線のあるものと無いものがある。どちらかのみを使用してもよいし、両方使用してもよい。
5. 字数や解答用紙の枚数に制限はないが、No.欄に通し番号を記入すること。

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース 教科教育専攻

美術教育専修

出題の意図

教育学部のアドミッションポリシーでは、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、「教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていきたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校での基礎学力を身につけ、思考力、判断力、表現力を持つ人」「沖縄の歴史的・地理的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人」を求めており、その適性の中でも特に図工・美術教育での適性を見るために、小論文においては「発想力や鑑賞力、造形教育への関心度」を見ることにしている。

本問では、海岸に転がる「角の丸まった石」の物質的特徴や、「無尽蔵にある」「場所は限定しない」など問題に示された設定を独自の着眼点によって柔軟に理解し、ユニークな図画工作の授業へと転換できる発想力及び構想力を見る。そして、自身のアイデアを文章と絵や図によって分かりやすく説明できる論理的思考力についても見る。